



井原市民病院 まいづる連携だより

平成 30 年 9 月 10 日

〒715-0019 岡山県井原市井原町 1186 番

井原市民病院内 地域医療連携室
TEL.0866-62-1133 連携室直通 FAX.0866-63-2840

第 32 回まいづる連携連絡会報告

今回は平成 30 年度の診療報酬・介護報酬改定に伴う、ICT を活用した医療・介護連携およびケアキャビネット機能の具体的な操作方法について学びました。今回は、実際にケアキャビネットを活用した事例を発表し、グループワークを通して他職種からどんな情報がほしいか協議しました。

今回のグループワークのまとめ

1 グループ

- ・病院に来てもらって話を伺うことも多く、写真・動画の利用ができればスムーズに連携が取れる。
- ・褥瘡等処置の流れや体位変換の方法の動画が添付できれば、手技の統一ができる。
- ・内服管理や食事内容、住環境の確認に役立つ。
- ・むすびの和が添付できると使いやすい。
- ・『普段の生活』がどういうものかわからない。
- ・病院から聞いた話を訪問看護に伝えることが難しい。

2 グループ

- ・皮膚疾患や下肢浮腫について、写真や動画が添付できれば、経過がわかり視覚的に理解できる。
- ・会いに行かなくても情報共有ができる。
- ・質問ができるチャット機能が時間短縮になって便利。
- ・施設によってキザミの大きさに違いがあるため、写真で実物がみられれば統一が図れる。具体的な食事の量や飲料の量についても意識統一が可能。
- ・実際の内服管理の状況が把握しやすい。

3 グループ

- ・受診のときに主治医から何を言われたのか施設には伝わってこないため、医師とも連携がとれればよい。
 - ・入院中にどのように動いていたのか、ADL の状況が具体的に把握できればよい。
 - ・褥瘡の大きさや処置について動画があればわかりやすい。
 - ・各事業所に周知することは難しいが、情報を添付すれば周知が簡単になる。
- ただし、添付していても確認してくれなければ意味がないため、「添付しているのでみてください。」と連絡することもある。
- ・動画など視覚に訴える情報が有効。
 - ・内服管理について心配なことをどこに相談したらよいかわからない。薬局もかかわってくれれば相談しやすい。

4グループ

- ・家族に同意を得るが、拒否されることもあり導入に至らない。
- ・医師や看護師、ケアマネと情報共有できるのはよいが、パスワード入力等順序を踏まないと利用できないため、不便。電話で連絡したほうが早い。
- ・薬局はどこが利用しているのか。連携をやすくしてもらいたい。
- ・退院前の自宅訪問時に医師や看護師も住環境を把握できればよい。
- ・傷や褥瘡をすぐに写真にとってアップできるのはよいがみるのに手間がかかる。もっと早く確認ができる方法があればよい。
- ・薬が管理できていない人が多い。普段の生活がどうなのか把握ができればよい。

たくさんのご意見をありがとうございました。

有効活用に向けて課題はありますが、メリットを理解して他職種連携の強化を図りましょう。



事務局の連絡事項および次回の連絡の案内について

日 時：平成30年12月17（月）18：00～19：00

テーマ： 「認知症を地域で支えよう」

井原市民病院 看護師長 崎谷由美子

理学療法室にて開催予定